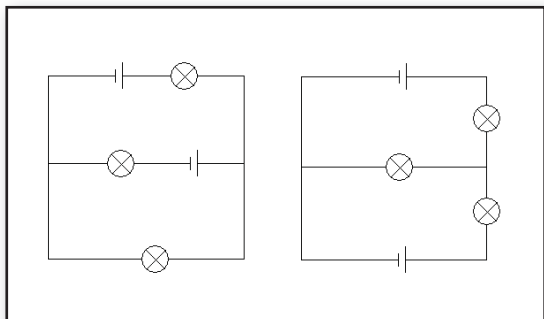




# 理科の回路図を作ろう

教材  
スタジオ




理科の授業で電気や電流について学ぶ際の回路図の作成も、教材スタジオにおまかせ。あらかじめ、電池や電球などの記号が部品として用意されているので、それらを組み合わせるだけで簡単に回路図を入れた教材を作成できます。

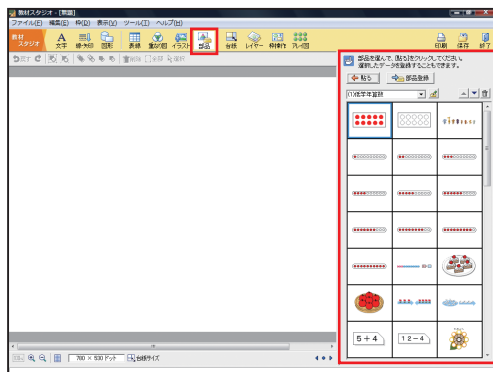



コネタくんからのアドバイス!

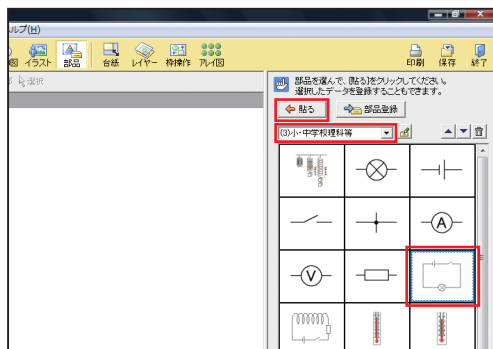
電池や電球などのパーツを移動したり追加したりして出来上がった回路図は、グループ化しておこう。回路図全体を移動させたり、大きさを調整したりする時に扱いやすくなるよ。

## 回路図を配置する

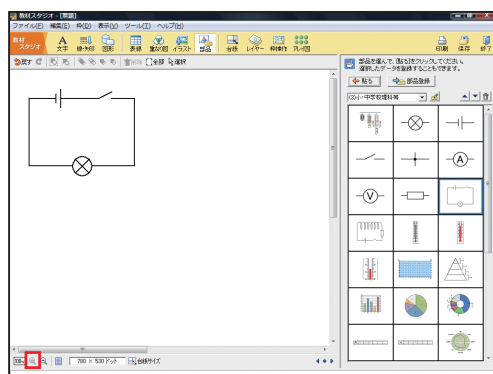
1 コマンドバーの  [部品] をクリックし、部品設定画面を表示します。



2 部品ファイル (ここでは「(3) 小・中学校理科等」) を選択し、使いたい部品を選択して  貼る をクリックします。



- 3 部品が貼り付いたのを確認したら、画面が見やすくなるように下のツールボックスの [拡大表示] を何回かクリックします。

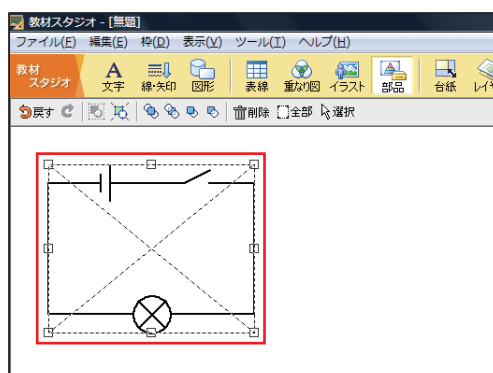


## 回路図を編集する

- 1 回路図をクリックして部品全体が選択された状態にします。

### One Point

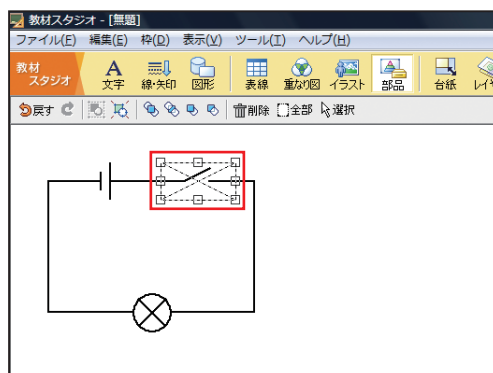
あらかじめ登録されている部品の多くはグループ化されています。部品をクリックすると、グループ化された部品全体が選択された状態になります。



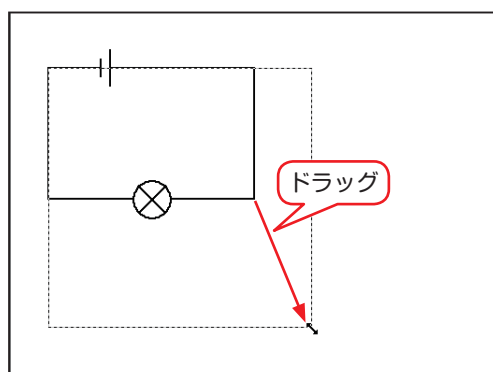
- 2 部品全体が選択された状態のまま、いらない部分（ここではスイッチ部分）をクリックして選択し、[Delete] キーを押します。

### One Point

グループ化された部品全体が選択された状態で特定の図形を 1 回または数回クリックすると、一部の図形だけを個別に選択できます。

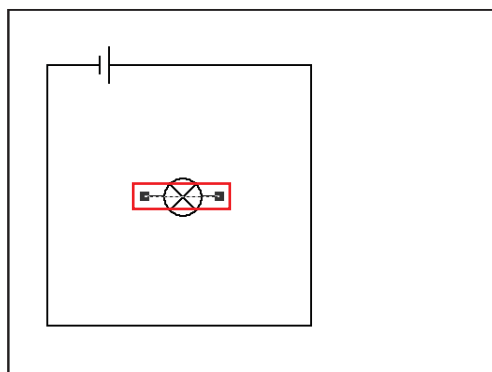


- 3 スイッチ部分が削除されたのを確認したら、回路図の導線部分を選択し、四隅の■をドラッグして大きさを調整します。

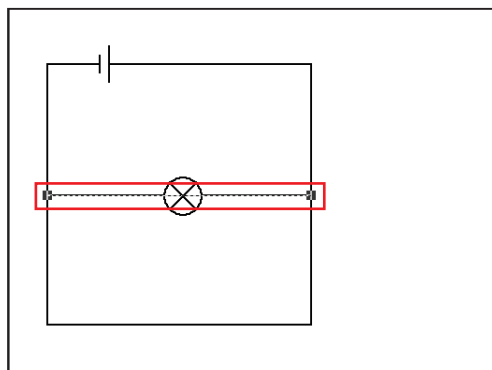


- 4** **2**と同様の操作で、電球部分を選択して中央に移動します。

電球部分が選択された状態のまま、導線部分をクリックして選択します。

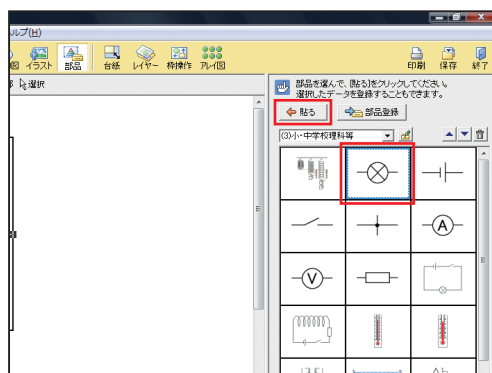


- 5** 両端の■をドラッグして、導線を左右に伸ばします。

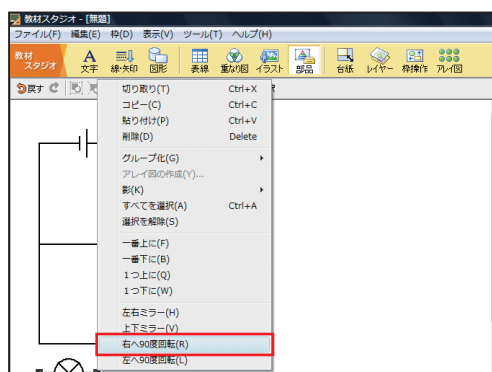


### パーツを追加して向きを変更する

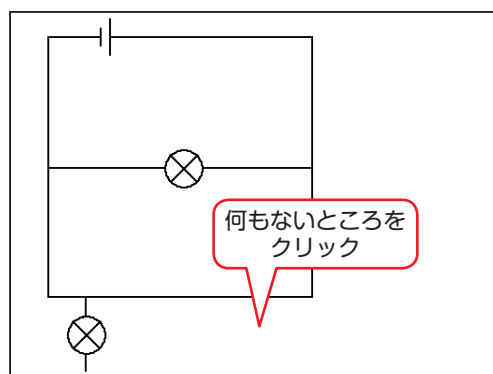
- 1** 部品設定画面の部品の一覧で追加したい部品（ここでは電球）を選択し、**貼る**をクリックします。



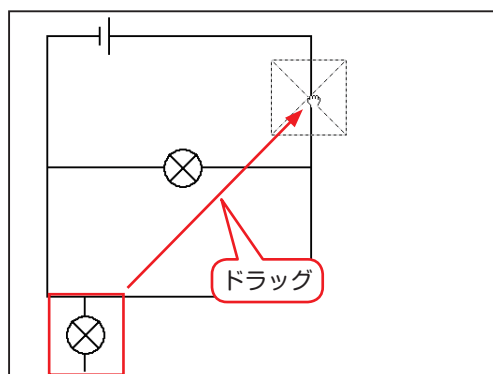
- 2** 貼り付いた部品をクリックして選択したら、導線部分をクリックして選択します。  
右クリックして、[右へ90度回転] または [左へ90度回転] を選択します。



- 3** 導線の向きが変わったのを確認したら、何も  
ないところをクリックして導線の選択を解除  
します。

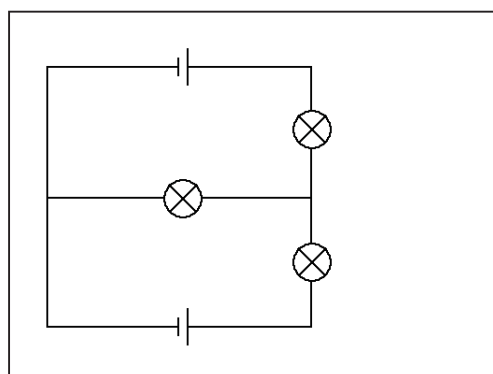


- 4** 再び電球の部品全体を選択したら、ドラッグ  
して回路図の導線上に移動します。



- 5** **1**～**4**と同様の操作で、必要なパーツをす  
べて配置します。



回路図が出来上がったら、回路図全体を囲むようにド  
ラッグして、四隅の□をドラッグして大きさや位置を  
調整します。



ちょこっと  
アレンジ!



### 回路図をグループ化／部品登録する

パーツを削ったり追加したりして編集した回路図は、最  
後にグループ化して部品登録しておく、何度も繰り  
返し利用できて便利です。グループ化はコマンドバーの  
 [枠操作] から、部品登録はコマンドバーの  [部  
品] から行います。部品登録の詳細についてはバックナ  
ンバー「花子で作った図形を教材スタジオに部品登録  
しよう」もご参照ください。

